



第2期富田林市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～進捗状況について～

令和3(2021)～令和8(2026)年度

富田林市

本市第2期戦略の進捗状況について

第2期富田林市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下本市第2期戦略）の計画期間は令和3（2021）～令和8（2026）年度の6年間となっています。令和5年度は、戦略期間の中間年にあたることから、前半3年間での進捗状況を確認するとともに、後半3年間の本市第2期戦略（富田林市デジタル田園都市国家構想総合戦略）へつなげるものとします。

1. 第2期戦略の概要

本市第2期戦略では、人口ビジョンで示された人口の将来展望を見据え、3つの方向性を整理するとともに、6つの基本目標を位置づけ、基本目標ごとに具体的な取組を進めています。その概要は下の表の通りです。

図表 1 本市第2期戦略の概要

目指すべき方向性	基本目標
若い世代の子育て・定住の場としてのまちづくり	基本目標Ⅰ ● 新しいひとの流れをつくる 基本目標Ⅱ ● 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
まちなぎわいと雇用を支える経済基盤の強化	基本目標Ⅲ ● 安定した雇用を創出するとともに、地域経済を活性化する 基本目標Ⅳ ● 多くの人が訪れるまちの魅力を創出する
人口減少・高齢化に対応した時代にあったまちづくり	基本目標Ⅴ ● 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る 基本目標Ⅵ ● 行政運営の効率化を図る

2. 進捗状況の確認について

本市第2期戦略の進捗状況の確認にあたっては、6つの基本目標ごとに定めた数値目標と、取り組むべき施策ごとに定めた重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicators）を確認するとともに、これまでの取組状況について、外部有識者へのヒアリングも実施しながら、3つの目指すべき方向性単位で確認を行いました。

これらの確認作業を踏まえて、本市第2期戦略の進捗状況と今後の課題を以下に示します。

3. 取組の成果と課題

本市では、令和3（2021）年7月に第2期戦略を策定し、同戦略における目標の達成に向けて、様々な取組を実施してきました。

地方創生に係る取組については、成果が発現するまでに時間を要するものもあり、短期的な指標の上下に一喜一憂せず、これまで実施してきた取組を着実に進めていくことが重要です。

一方で、コロナ禍を踏まえ、人々の働き方・暮らし方が大きく変わりつつある中、今後の取組にあたっては、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地域の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化するとともに、他市町村との差別化を意識し、若者・子育て世代にアピールできる魅力の醸成、地域資源の発掘や事業環境の整備、災害に強いまちづくり、行政のデジタル化などを、部局横断的に取り組む必要があります。また、取組にあたっては、市民との協働や公民連携、民民連携などのマルチパートナーシップにより、民間の活力を有効活用することも必要です。

以下に、3つの目指すべき方向性ごとの総括を示します。

(1) 若い世代の子育て・定住の場としてのまちづくり

この方向性のもとでは、若い世代に子育て・定住の場として本市を選んでもらえるようなまちづくりを目指し、様々な取組を進めています。

基本目標Ⅰでは「新しいひとの流れをつくる」として、移住・定住に向けた積極的な情報発信や、相談体制の整備を行ってきました。

その結果、定住促進ポータルサイトへのアクセスや、移住相談については、KPIの目標値は未達成ながら、一定のアクセス・相談がありました。また、数値目標についても、転出超過数に改善の傾向がみられました。

今後も、他市町村にない特徴的な魅力を戦略的にPRし、引き続き、新しい人を呼び込むことが必要です。

基本目標Ⅱでは「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」として、若い世代の住宅取得等に係る経済的負担の軽減や妊娠・出産に係る様々な助成や相談支援、子育て環境の整備、教育内容・学校施設の充実などに取り組んでいます。

合計特殊出生率について、目標値は未達成ですが、住宅取得支援件数については着実に実績が積み上がるとともに、産後ケア事業支援件数が目標を上回る等、一定の成果は出ていると考えられます。

今後も、市内外の人に「子育てするなら富田林」と思ってもらえるよう、定住・移住施策と連携しながら、子どもが学ぶ学校環境の整備など、教育や子育て施策の充実を図っていく必要があります。また、出生率の上昇など、すぐには結果が出にくいものもあることから、長期的な視点で捉えながら、引き続き地道に取組を進める必要があります。

基本目標Ⅰ：新しいひとの流れをつくる
積極的な情報発信を通じて、市内外に向けて定住・子育ての場としての本市の魅力伝えていくことを目指します。また、本市への移住・定住を希望する方へ、相談受付や、住宅取得に対する支援を行い、転出抑制・転入促進の実現を目指します。

■数値目標	R3年度	R4年度	達成
20・30代人口比率(年度末) 19.6%(H31・基準値)→19.5%(R2) 【21.7%(R8・目標値)】	19.2%	19.3%	未達成
年間転出超過数 362人(H31・基準値)→476人(R2) 【0人(R8・目標値)】	362人	56人	未達成
■KPI	R3年度	R4年度	達成
定住促進ポータルサイトアクセス数 3,619人件(H31・基準値)→11,933件(R2) 【15,000件(R8目標値)】	10,544件	10,225件	未達成
ふるさと富田林応援団員数 【600人(R8・目標値(累計))】	67人(+67)	75人(+8)	未達成
移住相談件数 141件(+9)(H31・参考値)→151件(+10)(R2) 【500件(R8目標値(累計))】	154件(+3)	158件(+4)	未達成

基本目標Ⅱ：若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・妊娠・出産に対する支援を通じて、子どもを持ちたいと望む若い世代の希望をかなえ、出生率の向上につなげることを、また、子育て・教育施策など、子育て世代を支える施策を充実させ、子どもを産み育てる場として選ばれるまちとなることを目指します。

■数値目標	R3年度	R4年度	達成
合計特殊出生率 1.19(H31・基準値)→1.19(R2) 【1.54(R8・目標値)】	1.12	-	未達成
市内在住子育て世帯のうち本市を子育てしやすいまちと考える割合 73.0%(H31)→80.0%以上	-	-	-
■KPI	R3年度	R4年度	達成
住宅取得支援件数 【600件(R8・目標値(累計))】	49件(+49)	91件(+42)	未達成
産後ケア事業支援件数 【120件(R8・目標値(累計))】	100件(+100)	192件(+92)	達成
保育所持機児童数 102人(H31・基準値)→39人(R2) 【0人(R8・目標値)】	47人	39人	未達成
全国学力・学習状況調査成績全国比(小6)0.97(H31・基準値)→0.97(R2) 【1.00以上(R8・目標値)】	0.96	0.96	未達成
全国学力・学習状況調査成績全国比(中3)0.99(H31・基準値)→0.98(R2) 【1.02以上(R8・目標値)】	0.99	1.01	未達成
学校園に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合(幼稚園) 【93.0%以上(R8・目標値)】	97.0%	98.0%	達成
学校園に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合(小6) 【93.0%以上(R8・目標値)】	92.3%	92.9%	未達成
学校園に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合(中3) 【85.0%以上(R8・目標値)】	79.8%	82.5%	未達成

(2) まちのにぎわいと雇用を支える経済基盤の強化

この方向性のもとでは、「しごと」と「ひと」の好循環の形成に向け、中核産業の活性化・競争力強化に努めるとともに、本市ならではの資源を活かしたまちの活性化に向けた取組を進めています。

基本目標Ⅲでは「安定した雇用を創出するとともに、地域経済を活性化する」として、起業・創業の支援や新規就農者の育成などを行っています。

市内事業所従業員数や支援メニューによる企業・創業件数が目標を上回り、また新規就農者数も目標値は未達成ですが、着実に増えています。

今後も、特産品づくりに磨きをかけつつ、企業誘致につながる基盤整備や、テレワーク等新しい働き方に対応した環境整備を行っていく必要があります。

基本目標Ⅳでは「多くの人を訪れるまちの魅力を生み出す」として、歴史的資源や豊かな自然環境を活かした観光や、文化・スポーツイベントを通じた交流人口の拡大に努めています。

その結果、コロナ禍で一時的に減少したものの、富田林寺内町には多くの外国人観光客が訪れており、令和4年度には100万人以上の観光入込客が訪れました。

今後も、特徴のある地域資源にストーリー性を持たせて磨きをかけ、積極的にPRするほか、豊かな自然など、これからの時代に求められる要素をアピールしていくことが求められます。また、人

を呼び込む施設については、民間の活力を積極的に活用し、運営を工夫していくことも重要です。

目指すべき方向性である「まちなにぎわいと雇用を支える経済基盤の強化」全体を通じては、地域全体の魅力づくりに向けて、既存の事業を地道に取り組みつつ、次に向けた展開を検討していく必要があります。

基本目標Ⅲ：安定した雇用を創出するとともに、地域経済を活性化する
 事業者の雇用創出や起業・創業支援を通じて、本市における「しごと」の充実を図り、「ひと」を呼び込んでいくことを目指します。また、商工業・農業などの本市の中核産業の課題解決を支援し、本市の経済基盤を維持・強化していくことを目指します。

■数値目標	R3年度	R4年度	達成
市内事業所従業員数 33,193人(H28・基準値) 【34,000人(R8・目標値)】	36,607人	-	達成
年間製造品出荷額 1,487億円(H31・基準値)→1,546億円(R2) 【1,500億円(R8・目標値)】	1,410億円	1,488億円	未達成
年間商品販売額 978億円(H28・基準値) 【1,200億円(R8・目標値)】	1,145億円	-	未達成
認定農業者数 132人(H31・基準値)→118人(R2) 【165人(R8・目標値)】	113人	114人	未達成
■KPI	R3年度	R4年度	達成
支援メニューによる起業・創業件数 31件(+12)(H31・参考値)→40件(+9)(R2) 【48件(R8・目標値(累計))】	47件(+7)	54件(+7)	達成
支援メニューによる企業・商業施設立地件数 3件(+0)(H31・参考値)→3件(+0)(R2) 【6件(R8・目標値(累計))】	3件(+0)	5件(+2)	未達成
企業面接会参加者数 【210件(R8・目標値(累計))】	18人(+18)	49人(+31)	未達成
富田林ブランド認定件数 29件(H31・基準値)→30件(R2) 【36件(R8・目標値)】	28件	31件	未達成
主要イベント入場者数 2,300人(H31・基準値) 【3,600人(R8・目標値)】	-	-	未達成
企業の競争力強化に向けた支援件数 【12件(R8・目標値(累計))】	0件(0)	0件(0)	未達成
新規就農者数 【18人(R8・目標値(累計))】	6人(+6)	8人(+2)	未達成
経営耕地面積 649ha(H31・基準値)→635ha(R2) 【667ha(R8・目標値)】	642ha	638ha	未達成

※数値目標：経済センサス・工業統計調査・商業統計調査

基本目標Ⅳ：多くの人が訪れるまちな魅力を創出する
 大阪府内唯一の重要伝統的建造物群保存地区である寺内町をはじめとする豊富な歴史的資源や豊かな自然環境など、地域資源を活かした観光や、文化・スポーツイベント等を通じて多くの交流人口を本市に呼び込み、にぎわいある魅力的なまちづくりにつなげることを目指します。

■数値目標	R3年度	R4年度	達成
観光入込客数(主要観光施設利用者数) 1,029,273人(H31・基準値)→959,117人(R2) 【1,500,000人(R8・目標値)】	829,881人	1,076,236人	未達成
■KPI	R3年度	R4年度	達成
観光交流施設入館数 26,077人(H31・基準値)→16,101人(R2) 【33,000人(R8・目標値)】	15,766人	22,336人	未達成
農業公園入園数 57,429人(H31・基準値)→35,130人(R2) 【102,000人(R8・目標値)】	34,921人	39,156人	未達成
主要観光施設への外国人来訪者数 2,065人(H31・基準値)→1,034人(R2) 【3,000人(R8・目標値)】	961人	1,814人	未達成
富田林ドリームフェスティバル参加者数 2,366人(H31・基準値) 【3,050人(R8・目標値)】	-	1,503人	未達成
スポーツ施設の利用者数 810,858人(H31・基準値)→539,451人(R2) 【865,000人(R8・目標値)】	554,042人	687,465人	未達成
まちかどミュージアム展示作品数 【160件(R8・目標値(累計))】	25件(+25)	55件(+30)	未達成

(3) まちなにぎわいと雇用を支える経済基盤の強化

この方向性のもとでは、時代にあったまちづくりを進めるために、増大する医療・介護サービス需要への対応や、需給バランスの変化を見据えた公共施設のマネジメント、効率的な行政運営の実現に努めています。

基本目標Ⅴでは、「時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る」として、地域交通サービスの検討や、防犯・介護予防に関する教室の開催など、これからの地域課題に対応するための取組を進めています。

その結果、各種教室には多くの参加者があり、地域活動を支える市民活動団体も増加し、市民公益活動センターの利用者数も増加するなど、多くの成果が出ています。

今後は、災害時における情報収集と支援要請、インフラ整備の充実等を進めるほか、地域のつな

がりを深めつつ、市民公益活動を持続可能なものにしていくことが必要です。

基本目標VIでは、「行政運営の効率化を図る」として、行政事務のICT化や、他の自治体との広域連携等の取組を進めています。

現状として、消防広域化をはじめとする他の自治体との新たな広域連携の取組については、目標を上回って実施することができました。

また、さらなる民間活力の導入やICT化の一層の推進等により、効率的で効果的な行政運営を進めていく必要があります。

目指すべき方向性である「人口減少・高齢化に対応した時代にあったまちづくり」全体を通じては、他市町村の動向等も見据えつつ、時代に合った都市構造への転換を進めていくことが必要です。

基本目標V: 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る
 人口減少や高齢化が進むことは避けられないことを踏まえ、人口の変化に伴って生じる地域の様々な課題に計画的に対応することで、時代にあった地域をつくり、安全で安心な暮らしを確保することを目指します。

■数値目標	R3年度	R4年度	達成
暮らしの安心度(市民アンケート回答結果より) 50.6%(H31・基準値) 【70.0%(R8・目標値)】	57%	-	未達成
市民の健康寿命(男性) 【80歳以上(R8・目標値)】	79.3%	-	未達成
市民の健康寿命(女性) 【83.5歳以上(R8・目標値)】	84.2%	-	達成
■KPI	R3年度	R4年度	達成
地域交通サービスの検討を開始した地域数 2地域(H31・基準値)→2地域(R2) 【5地域(R8・目標値(累計))】	2件(0)	2件(0)	未達成
防災訓練参加者数 1,523人(H31・基準値) 【2,000人(R8・目標値)】	1,523人	561人	未達成
防犯教室参加者数 5,928人(H31・基準値) 【6,000人以上(R8・目標値)】	1,239人	7,010人	達成
がん検診受診率 15.8%(H31・基準値)→11.6%(R2) 【20.0%(R8・目標値)】	12.3%	13.2%	未達成
特定健康診査受診率 38.7%(H31・基準値)→37.4%(R2) 【60.0%(R8・目標値)】	37.9%	38.6%	未達成
地域介護予防教室の参加者数 7,359人(H31・基準値)→4,024人(R2) 【7,500人(R8・目標値)】	4,226人	6,676人	未達成
市民公益活動支援センター登録団体数 188団体(H31・基準値)→203団体(R2) 【250団体(R8・目標値)】	204団体	214団体	未達成
市民公益活動支援センター利用者数 9,454人(H31・基準値)→8,595人(R2) 【10,000人(R8・目標値)】	8,698人	10,189人	達成
若者会議の参画者数 【120人(R8・目標値(累計))】	25人(+25)	50人(+25)	未達成
若者による提案施策の実現件数 【12件(R8・目標値(累計))】	0件(0)	5件(+5)	未達成
校区プログラムの実績数 【16件(R8・目標値)】	2件	5件	未達成
金剛地区魅力発信事業集客数 3,800人(H31・基準値)→1,600人(R2) 【4,500人(R8・目標値)】	1,800人	2,000人	未達成
金剛地区まちづくり会議の参加者数 48人(H31・基準値) 【58人(R8・目標値)】	42人	42人	未達成

基本目標VI: 行政運営の効率化を図る
 人口減少や高齢化が進むことにより、市の財政が厳しさを増す中、公共施設マネジメントの強化や、他の自治体との広域連携等を推進し、効率的で効果的な行政運営を実現することを目指します。

■数値目標	R3年度	R4年度	達成
行財政経営改革ビジョン目標効果額達成率 【100.0%(R8・目標値)】	-	-	-
■KPI	R3年度	R4年度	達成
DXによるデジタル技術の導入件数 【10件(R8・目標値(累計))】	5件(+5)	9件(+4)	未達成
新たな民間活力の導入件数 【10件(R8・目標値(累計))】	1件(+1)	3件(+2)	未達成
市民一人あたりの公共建築物延べ床面積 2.88㎡/人(H31・基準値)→2.90㎡/人(R2) 【2.84㎡/人(R8・目標値)】	2.93㎡	2.92㎡	未達成
新たな広域連携の取組数 【6件(R8・目標値(累計))】	4件(+4)	9件(+5)	達成

※ - 部分は実施なし